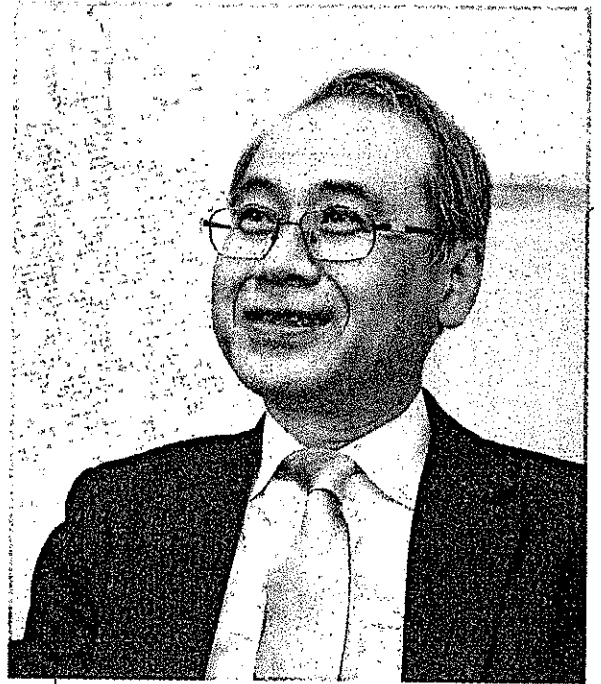


# 許すな 改憲 安倍9条



おかだ・ともひろ 1954年生まれ。専門は、地域経済学、農業経済学、公共政策。著書に『震災からの地域再生』、『自治体消滅』論を超えて』など多数。「手のひらに憲法プロジェクト」事務局は、京都自治体問題研究所内。「ポケット憲法」か「pocketkenpo.com」で検索。

関企業であり、戦後改革で財閥は解体されました。新しい平和な日本、健全な経済社会をつくっていくには中小企業の発展しかないというのが、連合国軍総司令部（GHQ）の民主化政策の考え方でした。

蛸川さんはその後吉田茂首相と対立し、中小企業庁長官を辞め、府民に推されて京都府知事になっていくわけですが。知事として最も大切にしたのが憲法でした。京都府庁に「憲法を暮らしの中に生かす」を掲げました。

憲法は太陽と同じだと思います。プロジェクト名は、やなせたかしさん作詞の「手のひらを太陽に」という童謡から取りました。

それぞれが違っていてもみんな生きていて、その権利がある。太陽（憲法）のもとで平和が保たれているからこそ、互いに尊重しあって生きられるのです。

個人的には安倍氏と同年であり、同年代の責任を感じます。

## 太陽と同じもの

す。政府がすすめる米軍新基地建設は、沖縄県民の基本的人権や地方自治権を侵害し、否定するなど憲法の関係から大いに問題です。

## 戦前と重なって

今回の取り組みは京大経済学部の歴史とも重なっています。戦前の有名なマルクス経

済学者、河上肇を京大から追放する「河上事件」が1928年に起こりました。辞任を容認した経済学部教授会は、河上が亡くなった46年に、蛸川虎三学部長のもとで、戦争責任をとって総辞職します。

蛸川さんは戦後初代中小企業庁長官に招かれます。戦争を遂行して利益を得たのは財



「手のひらに憲法プロジェクト」が作成したポケット版『憲法』

# 手のひらに憲法広げ

京都大学大学院教授

## 岡田 知弘さん

安倍内閣のもとで改憲がねらわれるなか「手のひらに憲法プロジェクト」と名付けて、ポケット憲法を多くの方々に広げていくという取り組みを始めました。

なぜ大日本帝国憲法（明治憲法）が廃止され、日本国憲法が生まれたのか。主権者である市民が9条だけでなくすべての条項について憲法を読んで考えて議論する運動を広げていくことが大切ではないか、と考えました。

私の専門は、地域経済学で

3/19 刊

聞き手・写真 阿部活士